



# もしかして多頭飼育崩壊？

# 地域で見守り、未然に防止！



## ペットは飼い主さんのバロメーター

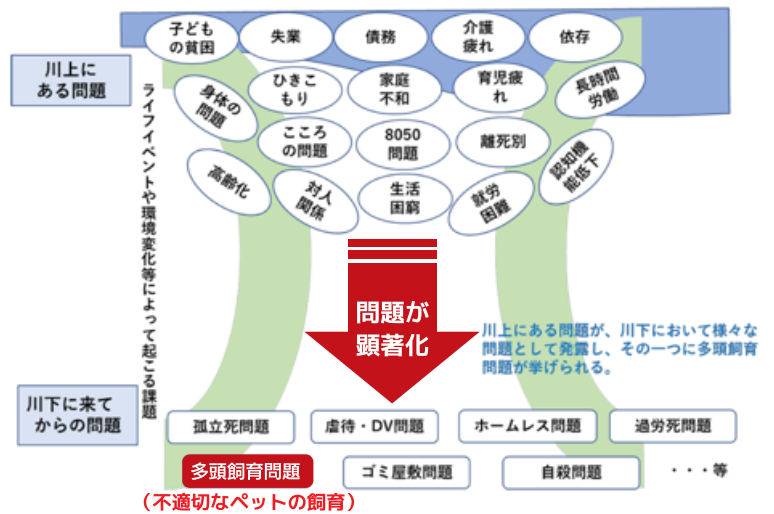
貧困、認知症の進行、虐待など・・・ペットを見れば飼い主さんの状態がわかります。  
飼い主さんとペットを必要に応じた支援につなげましょう！

### 環境省がガイドラインを策定

令和3年3月26日、多数の動物を抱え適切に飼養管理できなくなってしまう「多頭飼育問題」に、地方自治体を始め多くの関係者が連携して取り組むための方策をまとめた「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」を環境省が策定し、公表しました。飼い主さんが手に負えなくなった「多頭飼育」は、悪臭、騒音、ゴミ屋敷化など問題が周囲からも見えやすく、近隣住民にも弊害が及びます。

### 解決には早期発見が重要！

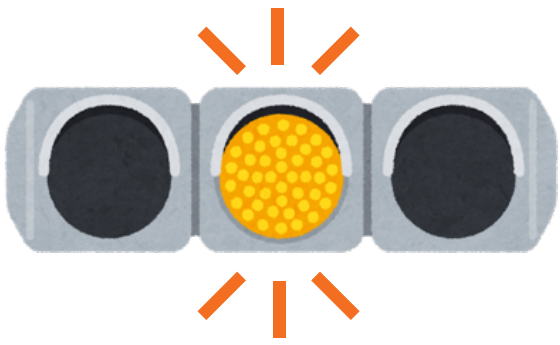
「多頭飼育問題」など不適切な飼育の背景には、飼い主さんの経済的困窮や社会的孤立による生活困窮といった問題があり、社会福祉的な支援を必要とする飼い主さんが多いこと、再発のリスクが高いことから「人の問題」と「動物の問題」として別々にとらえるのではなく、関係者が連携して対応することが望めます。動物が増えてしまうと解決が困難となるため、早期発見・早期対応が解決のポイントです。



支え合って  
安心の社会を



環境省「多頭飼育問題」  
ガイドライン



# 多頭飼育が問題化する兆候は？ 黄色信号チェック

チェックリストを使って飼い主さんとペットの状態を確認してください。  
飼い主さんとペット、両方にチェックが入ったら  
「赤信号になる前に」動物愛護センターなどに相談しましょう！

## 飼い主さんに関すること

ペットの世話が困難になる高齢者が急増しています。

- ①ゴミ屋敷化してきた
- ②体の汚れや身だしなみに気を使わなくなった
- ③近所付き合いがない
- ④ゴミ出しなどコミュニティのルールが守れない
- ⑤家族や親せきが遠方で困ったときに支援してもらえない
- ⑥ペットへの愛情を感じない
- ⑦体力面、精神面が弱ってきた
- ⑧表情が憔悴（しょうすい）していたり、痩せたりしている
- ⑨散歩や買い物など習慣にしていたことをしなくなった
- ⑩ペットや知人の名前を言えないなど物忘れが多くなった
- ⑪些細（ささい）なことで怒ったり、人を疑ったりなど性格が変わった
- ⑫なれている道で迷う、徘徊（はいかい）など不審な行動が増えた



## ペットに関すること

- ⑬子猫・子犬が生まれている
- ⑭飼育している数が1年前より増えている
- ⑮ペットのニオイや鳴き声で近所とトラブルになっている
- ⑯屋内や屋外に、ペットの糞尿が溜まっている
- ⑰ペットが汚い（毛玉が多い、爪が伸びている、悪臭を放っている）
- ⑱ペットの具合が悪そうなのに3日以上放置されている
- ⑲ペットが異常に痩せている
- ⑳犬の散歩をしていない



相談  
窓口

下越動物保護管理センター ☎0254-24-0207  
新潟県動物愛護センター ☎0258-21-5501  
上越動物保護管理センター ☎025-525-9263  
佐渡保健所 ☎0259-74-3398

\* 多頭飼育崩壊を防ぐのは最初の1匹！  
\* 飼い主がいない猫 = 避妊去勢手術の助成金制度があります！

